

令和8年（2026年）8月25日	
所 属	環境創造課
所属長	後藤 敦子
電 話	06-6489-6301

国土交通省「水辺の楽校プロジェクト」に 尼崎市の「水辺の楽校」構想が登録されました

令和8年（2026年）8月7日に、国土交通省の「水辺の楽校プロジェクト」に尼崎市の「水辺の楽校」構想が登録されました。

尼崎市は、市北東部の農業公園に隣接する猪名川及び藻川の水辺において、身近な自然を活かした環境学習や自然体験活動を推進し、子どもたちが豊かな自然や生物多様性の大切さを学び、河川愛護の意識や地域への愛着心を育む機会の創出を促進します。

※「水辺の楽校」プロジェクトとは、地域の水辺で環境学習等を実施するために必要な親水護岸等のハード整備を、国土交通省が整備して地域の活動を支援するプロジェクトです。

1 尼崎市の「水辺の楽校」構想の概要

（1）名称

尼崎市猪名川水辺の楽校

（2）水辺で行う環境学習・自然体験活動について

現在、水辺で行われている環境学習や自然体験活動をさらに発展させるとともに、川や水辺の生き物と触れ合う機会の創出を促進するほか、様々な世代が交流する憩いの場となるよう地域の方々と交流する取組を推進します。また、安全で継続な利用に向けて関係者間で連携し、維持管理や安全利用策について取り組みます。

（3）環境学習等の実施のために必要となる整備について

現在、水辺で実施されている活動場所に階段が無く、斜面のわずかな溝を使って低水路に降り、低水路には草木が繁茂しているため、水辺に安全に近づけない状況となっていることから、子どもたちが楽しく安全に水辺に親しみ、生物観察や環境学習をするため、階段護岸・親水護岸等を「水辺の楽校プロジェクト」で整備します。

構造物の設置範囲は必要最低限とし、生物の生息環境や景観を守りながら、人々が安全に環境学習等をできるようにします。

整備箇所は、国土交通省近畿地方整備局記者発表資料のとおり。

※国土交通省近畿地方整備局 記者発表資料

<https://www.kkr.mlit.go.jp/news/top/press/2026/krkrnt0000001jyr-att/20260807-3mizubewoikakitakannkyougakusyuu.pdf>

2 登録証伝達式について

水辺の楽校プロジェクトへの登録に伴い、登録証の認証伝達式を執り行う予定です。（9月中に実施予定）

以 上

尼崎市の「水辺の楽校」の登録について

令和8年(2026年)8月7日に、国土交通省の「水辺の楽校プロジェクト」に尼崎市の『**水辺の楽校**』構想が登録されました

「水辺の楽校プロジェクト」とは

地域の身近な水辺における環境学習や自然体験活動を推進する取組に対し、子どもたちが安全に水辺に近づけ、環境学習等を実施するために必要な、親水護岸などのハード整備を、「水辺の楽校プロジェクト」として国土交通省が実施し支援するもの。



農業公園に隣接する猪名川・藻川の水辺において、身近な自然を活かした環境学習や自然体験活動を推進し、子どもたちが豊かな自然や生物多様性の大切さを学び、河川愛護の意識や地域への愛着心を育む機会の創出を促進します。

国土交通省
近畿地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kinki Regional Development Bureau

Press release

令和8年8月7日14時00分
近畿地方整備局

『水辺を活かした環境学習』を支援

～兵庫県尼崎市の「水辺の楽校」構想を新規登録！～

本日、近畿地方整備局管内において、新たに申請のあった淀川水系猪名川(兵庫県尼崎市)の「水辺の楽校」が登録されました。

猪名川において、子どもたちが豊かな自然や生物多様性の大切さを学び、地域のさらなる魅力向上を図る取組を充実させる尼崎市の「水辺の楽校」を支援していきます。

なお、尼崎市への登録証の伝達式の開催については、日程等が定まった時点でお知らせします。

○尼崎市猪名川水辺の楽校(兵庫県尼崎市)……………別紙1

《「水辺の楽校プロジェクト」》(参考1)

人間と環境の関わりについての理解を深め、豊かな人間性を育んでいくために、市民団体や河川管理者、教育関係者などが一体となって、地域の身近な水辺における環境学習や自然体験活動を推進するため、国土交通省、文部科学省、環境省の3省が連携して、『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』に取り組んでいます。

この取組に対し国土交通省では、子どもが安全に水辺に近づけ、環境学習や地域交流などの活動を推進するために必要な、親水護岸などのハード整備を「水辺の楽校プロジェクト」として実施し支援するものです。

尼崎市の「水辺の楽校」構想（概要）

【名称】

尼崎市猪名川水辺の楽校

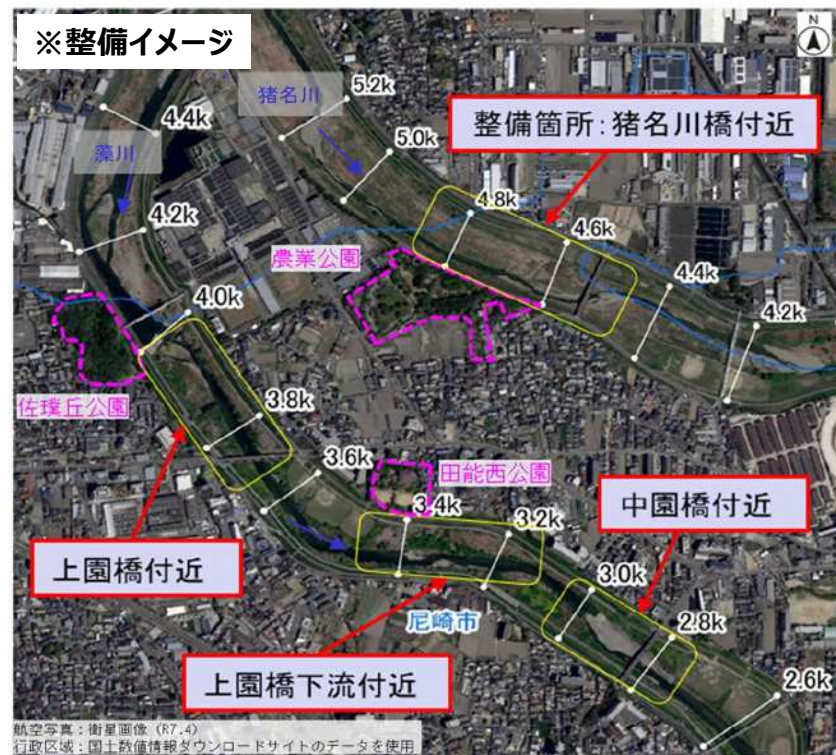
【水辺で行う環境学習・自然体験活動等について】

- ✓ 現在、水辺で行われている環境学習や自然体験活動をさらに発展させるとともに、川や水辺の生き物と触れ合う機会の創出を促進する。
- ✓ 様々な世代が交流する憩いの場となるよう、地域の方々と交流する取組を推進する。
- ✓ 安全で継続的な利用に向けて、関係者間で連携し、維持管理や安全利用策について取り組む。

【環境学習等の実施のために必要となる整備について】

- ✓ 現在、水辺で実施されている活動場所に階段が無く、斜面のわずかな溝を使って低水路に降りていることや、低水路の草木が繁茂しており、水辺に安全に近づけないことから、子どもたちが楽しく安全に水辺に親しみ、生物観察や環境学習ができるよう、階段護岸・親水護岸等を「水辺の楽校プロジェクト」を活用し、整備する。
- ✓ 構造物の設置範囲は必要最小限に抑え、生物の生息環境や景観を守りながら、人々が安全に環境学習等ができるようにする。

※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。



現在、水辺で行われている環境学習・自然体験の例

《水辺の楽校 位置図》



整備箇所	特色
① 猪名川橋付近 (猪名川)	浅瀬が広く、オイカワ等の小魚が豊富で、大人数の活動に適した水辺。農業公園の管理棟を拠点に、農業公園内の体験と組み合わせた終日型プログラムも実施できる。
② 中園橋付近 (藻川)	アユ産卵場や広い河原での昆虫採取など、猪名川橋にはない自然体験ができる。
③ 上園橋下流 (藻川)	オギ・ヨシ群落があり、クラフト工作ができる。ホンシュウカヤネズミ(日本に生息する最小のネズミ)が生息しており、巣探しなどの観察もできる。
④ 上園橋付近 (藻川)	野鳥観察に適している(大井井堰や佐璞丘公園に飛来)。野草採取にも適しており、クズのクラフト工作や、イタドリのジャム作り等を体験できる。

兵庫県「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」認定事業

＝ 猪名川キッズクラブ限定 ＝

猪名川で生き物さがし&川遊び③

～ 猪名川橋の下で、猪名川に入って楽しめます ～

9月5日(土)10時開始
猪名川橋下 集合
12時頃終了予定
雨天や増水時は中止します。
中止の場合は、当日の朝8時頃にブログで告知。
猪名川キッズクラブ限定の活動です

【参加費】 1人:100円
【持ち物】 水に入れる靴。水筒。入れ物。帽子。濡れても良い服装。ライフジャケット。たも網。敷物。(浮き輪。着替え)。

猪名川キッズクラブ独自活動 「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」認定事業

＝ 猪名の里(自然と文化の森)で楽しもう! ＝

河川敷でチョウチョ捕り & ミニ鯉のぼりを作ろう

4月20日[日] 農業公園あじさい園 集合
(雨天の時は中止します)
【集 合】 9時40分 (12時頃 終了予定)
【参加費】 1人:100円
【持ち物】 水筒、帽子、虫取りアミ、虫かご
※ キッズクラブ会員限定の活動です。

藻川のセイヨウカラシナの中で楽しみます

- ①. 白や黄色のチョウチョをさがそう。
- ②. ナガメカメシの仲間を見つけよう。
- ③. 折り紙でミニ鯉のぼりを作ろう。

【主催】 自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ

猪名の里(自然と文化の森)で楽しもう! 「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」認定事業

＝ 田能のヒメボタル観察会2026 ＝

蛍のお姫様に会えるかな?

5月21日(木) 藻川中園橋 東詰
22日(金) 農業公園 入口
23日(土) 猪名川公園北側堤防
【集 合】 20時 (ヒメボタル鑑賞後は 流れ解散)
雨天中止(ブログで告知します)
【持ち物】 懐中電灯。(歩きやすい靴)。
【参加費】 無 料
※ オリジナル缶バッジ(1 個 100 円)を買って、ヒメボタルサポーターになって下さい。

「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」認定事業

＝ 猪名の里(自然と文化の森)で楽しもう! ＝

イタドリを採って楽しもう 笛を鳴らそう & 味見をしよう

4月13日[日] 農業公園入口 集合
9時40分～12時頃
(雨天の時は中止します)
【参加費】 1人:200円
【持ち物】 水筒、帽子、軍手、ビニル袋、マスク、敷物
※ 事前の申し込みをお願いします。

- ①. 藻川の堤防でイタドリをさがし。
- ②. イタドリを笛にして鳴らします。
- ③. イタドリの味見をし、たくさん採ればジャムを作ります。

【協力】 自然と文化の森協会&猪名川キッズクラブ

農業公園と水辺の楽校の連携

尼崎市農業公園では現在再整備を進めており、老朽化施設の建替えの他、生物多様性に配慮した環境を整備すること等により、環境学習・自然体験の拠点としての機能を強化しています。

●花鑑賞ゾーン



植栽の更新・見直し

●水辺の楽校



水辺での自然体験（川遊び、魚捕り、昆虫採集など）



●多目的ゾーン



イベントの開催（野菜の販売など）・ピクニック

●自然体験ゾーン



親水空間の整備（農業体験・自然体験）

ヒメボタルの生息環境の保全

農業公園に隣接する
猪名川及び藻川の水辺を
「水辺の楽校プロジェクト」
を活用して整備することにより

農業公園

- ・多目的ゾーン
- ・花鑑賞ゾーン
- ・自然体験ゾーン

猪名川・藻川の
「水辺の楽校」

農業公園を活動拠点として
それぞれの特色を活かした
多様な体験・学習プラン
の実施が可能に！

尼崎市生物多様性地域戦略（令和6年3月策定）

尼崎市環境基本計画のうち生物多様性や生態系の保全などに取り組むうえで必要な事項を示す個別計画

（計画期間は令和6年度から令和15年度までの10年間）

尼崎市生物多様性地域戦略

生き物と共生した「四季」を実感できるまち あまがさき

本戦略は、尼崎市における環境政策の中長期的な方向性を示す尼崎市環境基本計画のうち、生物多様性や生態系の保全などに取り組むうえで必要な事項を示す個別計画及び生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略として策定しています。

尼崎における身近な自然

尼崎には、河川や樹林、田畑・水路、緑の多い公園など、様々な身近な自然が残っています。生物調査※1では2,233種が確認されており、希少種※2も128種が確認されています。

一方で、都市化が進んでいる尼崎では、地域のほとんどを建物や道路などの人工物で占めており、古くからの自然環境は孤立・断片化や人工化が進んでいるほか、107種の外来種※3も確認されており、残された身近な自然を適切に保全していく必要があります。



※1 2012年以降に尼崎市内で確認された種を把握することを目的に、2022年～2023年に実施した調査
※2 環境省、兵庫県及び大阪府が作成しているレッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の情報をまとめたリスト）に掲載のある種
※3 外来生物法に基づき指定されている特定外来生物、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト、兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物リストに掲載のある種



図 1 身近な自然の場所

- 河川（多様な環境がある範囲）
- 樹林（樹林面積2ha以上）
- 農地（生産緑地）
- 緑地（樹林面積2ha以上2ha未満）
- 水路
- 海・運河
- 保護樹林
- 保護樹木
- その他の緑地要素
- 河川
- 樹林面積1ha未満
- 緑地（樹林面積1ha未満）

目標1 生物多様性を理解し、大切にします

施策ア 生物多様性や身近な生物に関する理解・関心の醸成

主な取組：生物多様性を学ぶ環境学習プログラムの実施、市民参加型生物調査の実施

施策イ 生物多様性に配慮した市民生活・事業活動の普及

主な取組：環境ラベル商品の普及促進、動植物の適正飼育に関する啓発、国産木材利用や森林の公益的機能の啓発

施策ウ 自然環境の保全・回復に関する取組の支援とモデル的な取組の検討

主な取組：専門知識・技術の提供を通じた市民活動の支援、モデル事業としてのヒメボタルの保全活動

施策エ 生物多様性に関する情報の蓄積・利活用

主な取組：定期的な生き物調査の実施及び調査結果の分析・公表

目標2 生物の生息・生育環境を保全・創出します

施策ア 生物の生息・生育に配慮した身近な自然や緑地・水辺の維持管理

主な取組：市内に現存している身近な自然（河川、河畔林、田畑及び水路等）の維持管理及び再整備による質の向上

施策イ 生物多様性に配慮した開発の促進・緑化の推進

主な取組：自然との触れ合い要素（草地、水辺等）を適切に配置した開発・再整備の実施、環境影響評価制度の運用

施策ウ 重要種・外来種への対応

主な取組：重要種・希少種の生息・生育環境の保全、特定外来生物の防除

目標3 自然の恵みを活用します

施策ア 農地の保全・活用

主な取組：生産緑地地区への指定、農作物の地産地消の促進、地元野菜のブランド化

施策イ 自然・生態系を利用した社会課題の解決

主な取組：グリーンインフラやNbSの普及促進、公園・街路樹等の緑地の保全